

平成18年1月17日

サッポロビール株式会社

課税移出(引取)数量報告 平成17年・年間分

サッポロビール(株) 広報室

下記の通りご連絡申し上げますので、よろしく御取計ください。

単位:KL、千函、%

<課税移出>		本年キリットル	本年大瓶換算	前年比	前年キリットル	前年大瓶換算
①ビール	国産	475,239	37,539	▲ 6.1	506,328	39,994
	輸入	6,781	536	39.8	4,852	383
	小計	482,020	38,074	▲ 5.7	511,180	40,378
②発泡酒	国産	141,135	11,148	▲ 37.4	225,398	17,804
	輸入	0	0	-	0	0
	小計	141,135	11,148	▲ 37.4	225,398	17,804
③新ジャンル		280,368	22,146	20.7	232,207	18,342
総計(①+②+③)		903,523	71,368	▲ 6.7	968,784	76,523
ビール+発泡酒(①+②)		623,155	49,222	▲ 15.4	736,578	58,182
雑酒計(②+③)		421,502	33,294	▲ 7.9	457,605	36,146

*新ジャンルは、ドラフトとスリムの合計。

*国産は課税移出、輸入は課税引取り。大瓶換算は1函=12.66%。 *全ての数は表示の1桁下を四捨五入して算出。

*前年比は1函単位の実数から算出しているため、千函・万函単位の本表の表示数からの逆算とは異なることがある。

<ブランド別販売状況>

単位:万函、%

	<累計>		
	本年函数	前年比	前年函数
黒ラベル	2,593	▲ 8.7	2,840
エビス計	985	0.7	978
ギネス	53	35.1	39
生搾り計	1,097	▲ 37.1	1,743
ドラフト	1,985	9.3	1,816
スリムス	209	-	0

<トピックス:数字は販売数字>

市場動向 : ビールは前年比約92%、発泡酒は同約75%と推定され、前年を下回る厳しい結果となりました。一方、当社が切り開いた新ジャンル市場は急速に伸長し、前年比約310%となった模様です。しかしながら、ビール・発泡酒・新ジャンル合計の総需要は、約97%と前年を下回った模様です。

当社全般 : 当社ビールは、前年比94.3%と総需要を上回ったと見ています。また新ジャンルも、前年比120.8%と引続き大きく伸長しました。発泡酒は前年比62.5%でしたが、昨年11月に主力ブランド北海道生搾りのリニューアルを実施して以降好調に推移しています。ビール・発泡酒・新ジャンル合計では、前年比93.2%でした。

黒ラベル : 2,593万函(前年比91.3%)と総需要並みの前年比を確保しました。

エビス : エビス計では、985万函(前年比100.7%)と、13年連続シェアアップを果たしました。

ギネス : 5年連続で過去最高の売上を更新しています。01年の前年比は111.3%、02年151.0%と急成長した後03年106.2%、04年122.6%、05年135.1%と成長を続けています。

生搾り : 生搾り計では1,097万函(前年比62.9%)でした。

ドラフト : 新ジャンル市場のハイエアであるドラフトは、1,985万函(109.3%)を販売し、他社参入後もブランド基盤の拡大を続けました。新しいスッキリ味で、家庭用市場の定番商品として定着しました。

スリム : 5月に第一次地区発売、6月に全国発売をし、209万函を販売しました。

新ジャンルの「新ヘルシー系・新スッキリ生」として新しいカテゴリーを切り開きました。

以上